

# 会派視察報告書

令和 7 年 11 月 14 日

長浜市議会議長 伊藤 喜久雄 様

長浜市議会議員

押谷 正春

印

私が出席した次の行政視察の結果について報告します。

## 記

- 視察等名 令和7年度会派（新しい風）による行政視察研修
- 視察期間 令和7年10月28日（火）
- 視察場所及び目的  
守山市民病院 守山市議会  
守山市民病院経営の現状と課題等について

---

### ・視察の目的

守山市民病院の現状と課題等について

---

### ・視察の内容

---

#### 1 昨今の病院経営の現状と課題について

済生会が指定管理を受ける。

病床稼働率は令和3年以降、90%に近い稼働率を実現している。

199床を運営、滋賀県立総合病院との連携により稼働強化している。

職員数、人件費率は市民病院時代は人件費が高かったが、指定管理で人件費を抑えられている。現給補償3年、特別調整手当2年を実施した。

入院診療単価一療養病棟の需要が高まり一般病棟での受け入れを行った。

稼働率は飛躍的に上昇したが、診療単価の減少は避けられなかった。今後、どのように運営していくかが課題。

昨年来からの物価高騰及び人件費上昇等による経営状況と病院内での取組について

地域医療構想の中で回復期の需要と機能分化、機能強化のための整備をすることで、7年連続の黒字。

回復期機能の拠点病院の整備 済生会滋賀病院と滋賀県立総合病院との連携、守山市民病院へのリハビリ患者の転院や急性期医療の患者紹介、逆紹介等を実施。

土地、建物は将来的に無償譲渡

## 2 目標達成に向けた具体的な取組

○病床稼働率の向上(ベッドコントロールの強化)

○更なる連携強化の推進

○医療スタッフの確保と育成

○透析医療の充実

○糖尿病医療の充実

## 3 経費削減・抑制対策

○医療従事者の負担軽減、働き方改革による業務効率化

○材料費削減対策

## 4 患者サービスなどの推進

○患者の期待に応えられる診療体制の構築

○患者とのコミュニケーション作りの推進

○巡回バスの運行

○広報活動の充実による病院全体のブランド化の定着

○市民公開講座やホームページ等を通じた済生会ブランドのイメージや  
存在意義の発信

○DXの推進

○オンライン資格確認(マイナンバーカードの保険証利用)の導入

○クレジット決済の導入

○オンライン診療やオンライン面会の推進

○電子カルテの更新

・行政視察の結果を本市にどのように反映させるか

本市の医療体制については二市民病院と赤十字病院の現在三つの病院が  
あります。少子化に伴い、患者数の減少による経営悪化が進む。

本市においては、市立長浜病院と長浜赤十字病院の二つの大病院による

市民にとっては充実した医療環境が計られてきましたが、診療科を再編することにより、市立長浜病院を高度急性期病院に、長浜赤十字病院をリハビリ・回復期病院に、市立湖北病院を慢性期病院にと、しっかりと機能分けすればすばらしい医療体制が維持できます。

それには、経営形態を一つにする必要があります。

指定管理者制度の導入を早急に進める必要があると考えます。